



学校だより

玉小っ子

倉敷市立玉島小学校

令和8年1月30日

No.19

春は もうそこまで



2月3日(火)は「節分」で、2月4日(水)が立春です。暦の上では春になりますが、まだまだ寒い日が続いています。とても寒い中ですが、子どもたちは、業間時間や昼休みには運動場で長縄をしたり、鬼ごっこをしたりして元気いっぱい遊んでいます。また、今の学年のまとめをしっかりと頑張ろうと、毎日真剣に学習に取り組んでいる様子や係活動や委員会活動、奉仕活動を粘り強く続けている姿も多く見かけます。

寒さに負けず「明るく元気で、仲よく助け合い、最後までやりぬく玉小っ子」になるよう勉強や運動を頑張り、一歩ずつ着実に力を蓄えながら成長し、4月には自信をもって新しい学年・新しい学校へ進級・進学してほしいと願っています。



校内給食週間の取り組み



1月24日から1月30日は、全国学校給食週間です。本校では2月9日(月)から2月13日(金)の期間を校内給食週間として、様々な取り組みを行います。

給食委員会の子どもたちが中心となって「食事のマナー講座」や「玉小フードロスプロジェクト」を実施します。また、食育動画「給食ができるまで」を視聴し、安全な給食を提供して下さっている栄養士や給食場の先生方にお手紙を書いて感謝の気持ちを伝えることも計画しています。

こうしたことを通して、給食についての理解を深め、みんなが楽しく給食を食べることができるよう取り組んでいきたいと考えています。この機会に、ご家庭でも給食のことを話題にいただき、給食に対する理解や感謝、よりよい食習慣の定着に向けてご協力いただければ幸いです。

全国学校給食週間とは

我が国における学校給食は、明治22年に始まって以来、各地に広がっていききましたが、戦争の影響などによって中断されました。戦後、食糧難による児童の栄養状態の悪化を背景に学校給食の再開を求める国民の声が高まるようになり、昭和21年6月に米国のLARA(Licensed Agencies for Relief in Asia:アジア救済公認団体)から、給食用物資の寄贈を受けて、昭和22年1月から学校給食が再開されました。

昭和21年12月24日に、東京都内の小学校でLARAからの給食用物資の贈呈式が行われ、それ以来、この日を学校給食感謝の日と決めました。昭和25年度から、学校給食による教育効果を促進する観点から、冬季休業と重ならない1月24日から1月30日までの1週間を「学校給食週間」としました。

子供たちの食生活を取り巻く環境が大きく変化し、偏った栄養摂取、肥満傾向など、健康状態について懸念される点が多く見られる今日、学校給食は子供たちが食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身に付けるために重要な役割を果たしています。
(文部科学省HPより抜粋)

インフルエンザの拡大防止に向けて

猛威を振っているインフルエンザが、なかなか収まる気配がありません。学校でもこれまでの感染予防対策を徹底しながら、健康で安全な学校生活が送れるよう努めてまいりたいと考えています。

ご家庭におかれましても、子どもたちへの声かけや健康管理等よろしく願いいたします。

◎基本的な感染予防対策を徹底する。

- 手洗い、うがいを励行する。
- 場面に応じてマスクを正しく着用する。
- こまめに換気する。
- 十分な休養、バランスよい食事をする。

